

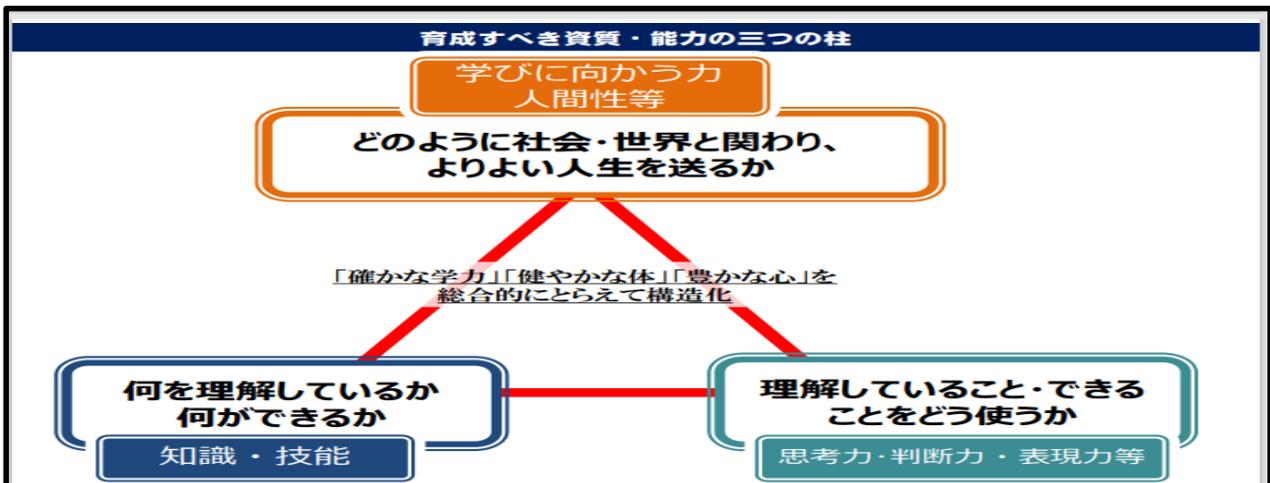


島特だより 第2号

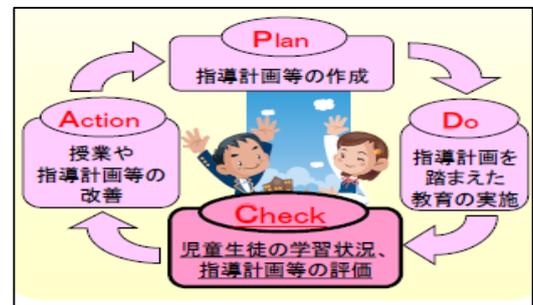
令和6年7月18日(木)
県立島尻特別支援学校
八重瀬町字友寄160
編集責任者 中山充雄

～令和6年度 1学期を終えて～

校訓「自愛・友愛・博愛」を掲げ、幼児児童生徒の「自立・社会参加」を目指し、4月8日に幼小中高等部293名、教職員201名でスタートした令和6年度の1学期もあっという間に終えようとしています。始業式の校長あいさつの中で、学校だけでなく社会に出ても必要な力を身につけて欲しい、という校長からのお願いとして子ども達に3つのお願い【1つ目には「あいさつをしよう」、2つ目に「感謝の気持ちを忘れない（ありがとう）」、3つ目に「学校での様子を伝えよう（伝える力）」】の話をし、1学期の終業式の中でも幼児児童生徒の皆さんに取り組みについて問いかけています。各家庭においても聞いてみて下さい。また、1学期を終えて学校の様子について「あゆみ」や「通知表」により学習の記録が各ご家庭へ届きます。学校において教育活動を進めるために、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」の観点で授業作りを行っていますので、ご家庭で1学期の様子を振り返りお子さんの頑張りについて保護者の皆さんの賞賛の言葉をお願いします。



また、学習を進めるにあたり、教育課程を編成（P）・実施（D）・評価（C）・改善（A）によりPDCAサイクルを回して指導改善に努めています。そして、学習の状況を三つの柱とした内容で「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性等」の3観点で教科の目標を掲げ、評価していますので、下記の図のように授業の取り組みの様子をご確認下さい。



1 学 期 学 習 の 記 録			
教科	年 目 標	組 活 動 内 容	名 前 学 習 の 様 子
国 語	① (知及技)	単元1 単元2	① } ② } ③ } <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> 3つの柱の目標 に応じた評価 </div>
	② (思判表力)		
	③ (学・人)		

「学校だより」は、マチコミ・ホームページでも配信しています。